発行日 2020年3月15日

制作・発行 桜川市地域おこし協力隊 萩原陸
ロゴ 佐藤健人
協力・写真提供 まかべ♡街灯リプロジェクト
桜川本物づくり委員会
真壁街並み案内ボランティア
桜川市商工会
桜川市観光協会
桜川市役所生涯学習課
桜川市役所ヤマザクラ課

message

真壁について

茨城県の中西部に位置する桜川市真壁町は、
広い関東平野に南北に連なる筑波山・足尾山・加波山を
望め、米や小麦などの農作物を栽培できる豊かな土壌に
恵まれた環境です。

真壁町と聞くと、「ひなまつり」や「石材業」を思い浮
かべる方も多いと思います。
真壁にはこんな姿があったのか！と新たな気づきが生ま
れる一冊になったら嬉しいです。

写真 真壁に自生している山桜

contents

A	ASANO 浅野長勲	N	NINGYŌ 人形浄瑠璃
B	BEKKŌ べっ甲細工	O	OSAKE お酒
C	CAMP キャンプ	P	PARAGLIDER パラグライダー
D	DENSYŌKAN 伝承館	Q	QUARRY 石切り場
E	EKI 駅	R	RING-RING ROAD りんりんロード
F	FUKURE 福来ミカン	S	SAKAYORI 酒寄ミカン
G	GOSHOKOMAGATAKI 五所駒瀧神社	T	TŌRŌ 燈籠
H	HINAMATSURI ひな祭り	U	UMAKABE うまかべすいとん
I	ICHI 市	V	VEGETABLE 農産物
J	JŌZŌ 醸造	W	WAGASHI 和菓子
K	KATTATE かたて祭	X	かける 下宿通り × ツバメ
L	LANDSCAPE ランドスケープ	Y	YAMANO 山のナス
M	MACHIWARAI 町割り	Z	GEOPARK ジオパーク

浅野長勲とは広島藩の最後の藩主で、維新後は侯爵として貴族院議員を務めた人物です。江戸時代の初期、祖先にあたる浅野長政と長重が真壁を治めていました。写真の石像は、真壁の振興に助力した長勲への感謝を込めて地元の花石工達が制作しました。

浅野長勲

真壁にはべっ甲細工の職人さんがいます。亀の甲羅を加工して作られるべっ甲細工は、刈部さんご兄弟が父親から受け継いだもので、この道50年以上にもなります。彫刻・蒔絵・漆を使いこなし、琥珀色に輝く美しい装飾品を生み出します。

べっ甲細工

筑波高原キャンプ場は筑波山の中腹にあるキャンプ場です。周辺は140種の野鳥が生息しています。春にはカタクリやニリンソウが咲き、近くを流れる沢ではサワガニやサンショウウオの姿を見ることができます。

キャンプ

D

DENSYOKAN

E

EKI

写真提供 村上書店

F

FUKURE

G

GOSHOKOMAGATAKI

H

HINAMATSURI

I

ICHI

真壁伝承館は、国の重要伝統的建造物群保存地区内に位置することから、周辺の町並みに調和した建物として平成23年に開館しました。

併設されている真壁図書館の蔵書数は2万冊にもなります。夜に訪れるとオレンジ色の明かりが灯され、美しい光景を目にすることができます。

伝承館

真壁駅は筑波線の廃止に伴って、昭和62年に廃止されました。現在はつくば霞ヶ浦りんりんロードの真壁休憩所として整備され、駅があった当時から植えられているソメイヨシノの樹が残されています。

桜が満開の時期にサイクリングをするとても気持ちが良いです。

駅

古来から筑波山麓の地域で栽培されてきた福来（ふくれ）みかん。日本原産のミカン科の植物「橘」の一種であると考えられています。

とても小さいですが、種は大きく酸味が強いです。

香りがとても強いので、皮を乾燥させて七味唐辛子に入れる陳皮として重宝されています。

福来ミカン

五所駒瀧神社は社伝によれば、平安時代末期に創建され、鹿島神宮の御祭神、武甕槌命（たけみかづちのみこと）の分霊を祀り、真壁氏の氏神として崇敬されたと言われていました。

400年続く真壁祇園祭を含む五所駒瀧神社の祭事は、昭和61年、文化庁より「無形の民俗文化財」に選択されました。

五所駒瀧神社

「寒い中真壁に来てくれるお客さんを、おもてなししたい」という住民の思いからはじまった「真壁のひなまつり」。

平成15年に有志の数名からはじまり、それを見ていた町の住民たちも自主的にお雛様を飾りはじめ、今では約160軒の家で飾られるようになりました。

ひなまつり

江戸時代から農業と商工業に活気があった真壁では、毎月12日も“市”が開かれ、賑わっていました。

鬼怒川・小貝川・桜川沿いでは、綿花の生産が盛んに行われました。また、筑波山から流れる溪流を利用して、水車による製粉業も増えていきました。

市

真壁は筑波山のミネラルに富んだ伏流水に恵まれたことで江戸期より酒、味噌、醤油の醸造の町として栄えました。鈴木醸造の丸大豆醤油は、創業以来使ってきた杉桶でゆっくりと発酵させるため、製品になるまでに1年半の時間をかけた、醤油づくりに取り組んでいます。

醸造

五所駒瀧神社の氏子たちが、権現山にある富士浅間神社に神火を奉獻し、五穀豊穡祈願するお祭りです。山頂を目指して登る松明の列は真壁の夏の終わりを告げる風物詩です。毎年花火があがり、山の麓から眺めることができます。

か つ た て 祭

真壁町は広大な関東平野の北東部にあり、その恵まれた自然環境は、「常陸風土記」や平将門の説話などに記されています。また、筑波山をはじめとする筑波連山の山々に抱かれ、桜川の流れとともに個性豊かな風景を醸し出しています。

ラ ン ド ス ケ ー プ

現在の重要伝統的建造物群保存地区には、かつて真壁城の城下町として武士のほか、商人、職人など多くの人々が集まってきました。城下は縦と横の道を基本としています。南北に走る道に「鍵の辻」と呼ばれる場所があり、敵に攻められても遠方が見えないようになっています。

町 割 り

真壁白井座の歴史は江戸時代後期、現在の桜川市真壁町白井の若者たちが始めた白井座に由来します。時代の流れとともに衰退していき、大正9年の上演で幕を閉じました。平成13年、文化庁の奨励を受けたのを機に、町有志による「真壁白井座」として保存会を結成しました。

人 形 浄 瑠 璃

真壁は筑波連山の花崗岩地帯を浸透して良質な湧き水が出るため、江戸時代には23軒の造り酒屋が営業するなど、酒造りの盛んな地域として知られました。現在真壁には、近江商人として発展した、西岡本店と村井醸造の二軒の酒蔵があります。

お 酒

足尾山と加波山は日本有数のパラグライダーの聖地として知られ、人気のアクティビティスポットとなっています。気候の良い日に空を眺めてみると、フライトを楽しんでいる人を見られることがあります。

パラグライダー

足尾山や加波山から切り出される花崗岩は良質な石材として利用されてきました。数ある石材の産地でも、10か所も採掘場があるのは真壁だけです。真壁石材協同組合に予約を取り、壮大な景観の採石場に見学へ行くのがおすすめです。

石切り場

つくば霞ヶ浦りんりんロードは、旧筑波鉄道の廃線敷と霞ヶ浦を周回する湖岸道路を合わせた全長約180kmのサイクリングコースです。筑波山方面のコースは、元駅舎を活用した休憩所が点在するなど、初心者にも走りやすいコースとなっています。

りんりんロード

酒寄地区は日本の温州ミカンの北限地です。霜が降りることが少ない温暖な筑波山の斜面を利用して「宮川早生」という品種のミカンを栽培しています。10月下旬から12月にかけて酒寄地区では、みかん園がオープンし、コクのある甘酸っぱいミカンを楽しむことができます。

酒寄ミカン

真壁石燈籠は明かりを灯すために使うもので、足尾山や加波山から切り出された真壁石で作られています。江戸時代から続いていた真壁石燈籠は、平成7年に国の伝統的工芸品に指定されました。

燈籠

真壁商工会が主体となって、まちおこしの為の料理として、地場産の野菜を使ったすいとん作りをはじめました。真壁のひなまつり期間中には、すいとんを販売しているお店は緑色の「うまかべすいとん」ののぼりが目印となっています。

うまかべすいとん

topic

猪絵旗指物

茨城県の銘柄産地に指定されている「こだますいか」は、高い糖度と皮の薄さが特徴で、桜川市・筑西市で多く生産されています。夜の気温が低く日照時間の長い、すいか栽培に適した環境であるため、全国一の規模の産地となっています。

農産物

真壁には、それぞれ個性のある和菓子屋さんが6軒あります。

- ・みよしや菓子店
- ・御菓子司 山口屋
- ・黄金屋
- ・白川菓子店
- ・御菓子司 高庭菓子舗
- ・御菓子処 さとう

町並みの中を散歩しながら、和菓子屋さん巡りを楽しむことができます。

和菓子

ツバメは外敵から身を守るため、人が住む環境に巣をつくる習性があります。真壁町の下宿通りは人通りや軒先が多いため、ツバメの子育ての環境に適しており、暖かくなった春に訪れてみると、ツバメの飛び交う光景を見る事ができます。

下宿通り × ツバメ

真壁町山尾地区で百年以上前から大切に種をとり、今日まで栽培されてきた在来種の丸なすです。他の土地で栽培すると変形してしまうので、ここの土地でしか栽培できないそうです。直径10センチ前後のサイズで丸くて肉厚でどっしりしています。

山のナス

平成28年に日本ジオパークのひとつとして認定されました。認定された地域は、茨城県中南部に位置するつくば・石岡・笠間・桜川・土浦・かすみがうらの6市エリアから構成されています。

ジオパーク

こちらの写真は平安時代の末から約400年間、真壁地方を支配した真壁氏が戦陣に掲げたと思われる猪絵旗指物(いのししえはたさしもの)です。

旗指物は戦陣で武将の所属や任務を示す旗であり、武士の守り本尊である摩利支天がイノシシに乗るとされており、意匠化したものと考えられています。

真壁 年間の行事予定

写真 七夕期間中の下宿通り